

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和6年10月10日

枚方市立蹉跎東小学校

文部科学省が今年4月に実施した、令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、児童（生徒）の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

※調査結果について

教科や出題範囲が限られていることから、全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部です。

学力調査の結果

学力調査結果の中から、本校と全国の平均正答率（対全国比）をお知らせします。

令和6年度 平均正答率 対全国比		国語	算数
蹉跎東	小学校	1.05	1.09

<学力調査結果の概要>

○国語について

→学習指導要領の「話すこと・聞くこと」に関する正答率が比較的高く、聞き取りメモなどを見て、どのようにすれば相手に伝わる文章が書けるか、伝えられるかということを考えることができている。また、全体的に無回答率が非常に低く、どの設問に対してもじっくりと最後まで考えることができている。

○算数について

→表やグラフ等を正確に読み取り、そこから計算をし、正しい数値を導き出すなど、データの活用と数と計算の基礎的な学力が定着している。また、昨年度に引き続き今年度の平均正答率が高くなっており、学校全体として算数の学習内容をよく理解することができている。

国語科において成果があった設問

【成果が見られた設問】

問題の概要

【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く。

60字以上、100字以内でまとめること。

心に残ったところと、心に残った理由を、60字以上、100字以内でまとめて書く。

考察

この設問では、「人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうか」をみることができる。

設問の条件である、「心に残ったところ」と「心に残った理由」を物語から言葉や文を取り上げ、60字以上、100字以内でまとめることが求められている。条件を正しく理解し、回答することができている。難しい問題であるが、全国平均よりも5%上回る結果となったことは、成長を感じる場所である。

【課題があった設問】

問題の概要

【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に着目したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する。

原さんが【物語】の何に着目したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する。

1. 【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に着目したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する。

2. 【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に着目したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する。

3. 【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に着目したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する。

4. 【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に着目したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する。

考察

【話し合いの様子】において、原さんが、【物語】の①や②の内容を結び付けて、「登場人物の気持ちや考え方」に着目して考えたことを話していることを捉えることが求められている。

原さんと島さんの二人の会話からの読み取りだが、誤答には、島さんが着目していることを回答しているものが多いことから、問題文を読み飛ばしていることが想像される。最後まで落ち着いて問題を読むことが今後に向けての課題である。

算数(数学)科において成果があった設問

【成果が見られた設問】

問題の概要

示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く。

(4) こうたさんは、3月19日の卒業式の日までに、桜が開花してほしいと思っています。

桜がいつ開花するか知りたいと思い、桜の開花予想日について調べたところ、下のような桜の開花予想日の求め方を見つけました。

桜の開花予想日の求め方

① 2月1日から、毎日の最高気温の数をたしていく。
② 毎日の最高気温の数をたした答えが、初めて600以上になったその日を桜の開花予想日とする。

こうた 今日(3月16日)です。桜はまだ開花していません。

桜の開花予想日の求め方の①のように計算すると、3月15日までの最高気温の数をたした答えは549でした。

3月16日からの最高気温の予想は、下の表のとおりです。

3月16日から3月19日までの最高気温の予想				
日にち	3月16日	3月17日	3月18日	3月19日
最高気温(度)	21	20	15	14

こうたさんは、3月16日以降は予想どおりの最高気温になるとして、桜の開花予想日の求め方を使って、桜の開花予想日を探りました。

桜の開花予想日について、次のようにまとめることができます。

最高気温の数をたしていった答えが、初めて600以上になる式は、 $549 + \square$ から、桜の開花予想日は3月 \square 日です。

上の空に入る式を、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、上の空に入る数を書きましょう。

- $549 + 21$
- $549 + 21 + 20$
- $549 + 21 + 20 + 15$
- $549 + 21 + 20 + 15 + 14$

考察

示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断することが求められる。

この設問では、データを活用して式を立てることと、その式から答えを導くという【数と計算】の領域と【データの活用】の二つが求められているが、誤答を見ると600日を超えた時点で計算を止める必要があったものを最後まで計算してしまうというものがほとんどであり、基礎的な理解はできている。

【課題があった設問】

問題の概要

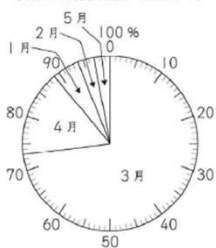
円グラフから、2023年の桜の開花日について、四月の割合を読み取って書く。

こうたさんは、桜の開花日について興味をもちました。桜の開花日とは、各地で基準となっている桜の木で5〜6輪以上の花が開いた状態となった最初の日のことです。

(1) 全国各地の観測地のデータを調べたところ、地域によって桜の開花日がちがうことがわかりました。

下の円グラフは、2023年の開花日について、月別に整理し、その割合を表したものです。

開花日の月別の割合(2023年)



「4月」の割合は、全体の何%ですか。答えを書きましょう。

考察

円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができるかどうかを求められている。

第五学年で学習した【データの活用】の領域の「円グラフ」の読み取りの問題である。正答は「16」であるが、誤答に「15、17」が多かったことから、目盛りの読み取りというケアレスミスであると考えられる。このことから、読み取りの基礎的なことはできているが、落ち着いて正しく読み取ることが今後の課題だと考えられる。

質問紙調査の結果

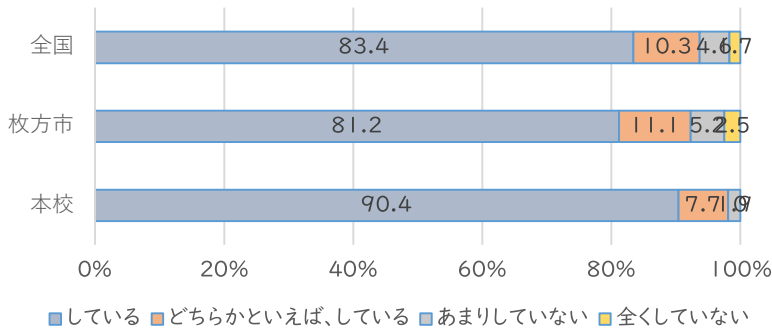
※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。

※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。

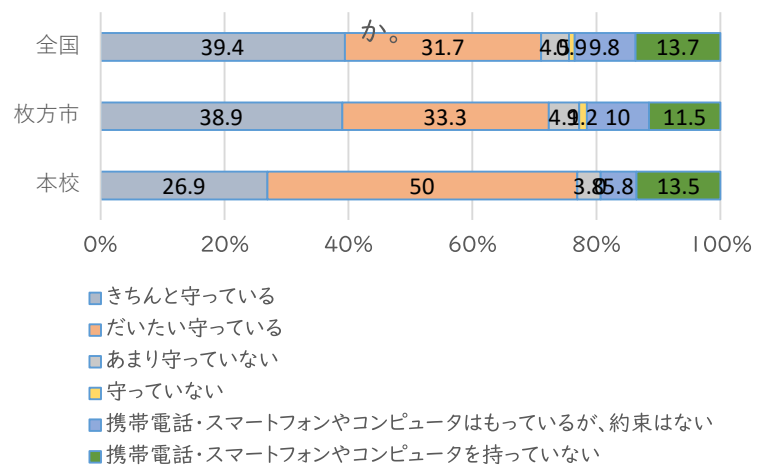
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合もあります。

【成果が見られた項目】

朝食を毎日食べていますか



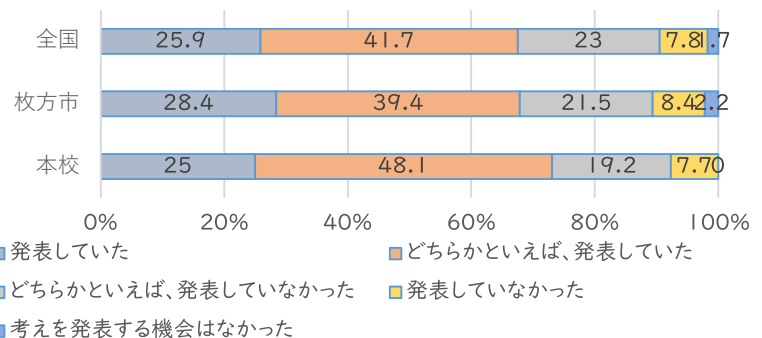
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。



(考察)

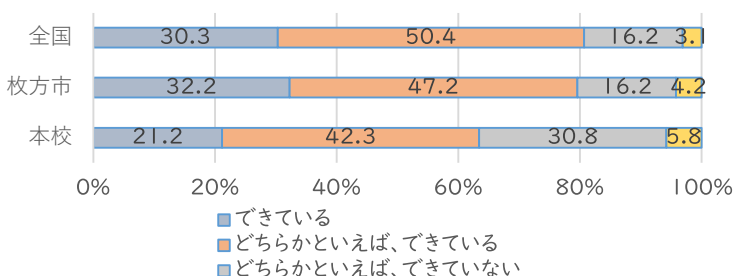
「朝食を毎日食べていますか」の質問に対して、約97.7%の児童が肯定的な回答をしており、同じく就寝時刻の質問や、携帯電話・スマートフォンの使い方といった基本的な生活習慣の質問に対しても肯定的な意見が多く、多くの児童が基本的な生活習慣を身に付けているといえる。また、「五年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか」の質問に対して、肯定的な意見の割合が高く、本校の目指す主体的な学習の取り組みが結果として表れているといえる。

五年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。

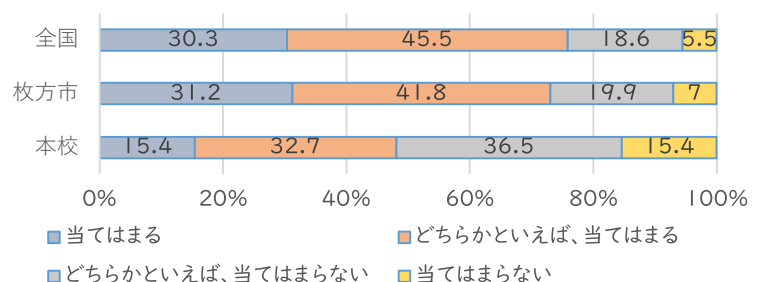


【課題が残った項目】

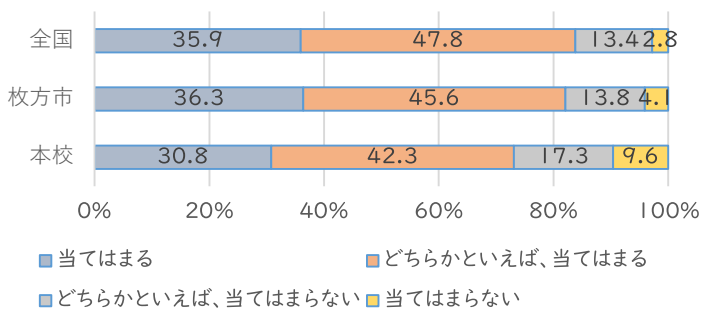
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。



自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。



授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。



(考察)

成果のあった項目の質問では、発表など「相手意識」があると、意欲的に取り組めることが成果としてみとめられたが、「自分」に対しての工夫となると平均と比べて下回っている。また、その上で「自分と違う意見について考えるのは楽しいですか。」という友達との関わりにも繋げ、「協働的な学び」の一層の充実を図っていきたい。それに加えて、授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えることが平均を下回っていることから、日頃からどのような場面で使えるかという日常生活を意識して学習に取り組んでいきたい。

分析結果を踏まえて取り組んでいくこと

(1) 授業改善について

本校では、これまでの3年間、大阪府の指定を受け、加配教員配置の下で国語科の授業改善に取り組んできました。また、この5年間、高学年算数専科制を継続して実施してきました。今年度の学力調査の結果は、そういった取組の成果の一つと思われます。特に、国語科では、無回答率が全体的に低く、根気強く最後まで問題に取り組んでいる傾向が高く、主体性をもって取り組んでいることが伺えます。物語を読んで心に残ったことの原因を記述する設問でも、正答率が向上していたことから、物語を読んで、理解する力が育ちつつあります。課題としては、より正確な読み取る力の育成と考えます。

算数科では、統計的な設問や数と計算領域の基礎的な学力については、一定の定着が見られます。データの数値を活用して、それを式化し、計算する力は向上しています。課題としては、グラフなどの統計資料を読み取り、必要な数値を自ら見極め選択し、解決するような設問のように、自分で段階を踏んで考え、解決するところまでは、至っていません。こういった課題を念頭に置いて、今後もより系統性を意識し、児童が主体的に授業に取り組めるよう、個別最適で、協働的な授業を取り入れ、国語科や算数科以外の教科にも視野を広げ、更なる学力の育成に取り組んでまいります。

(2) 家庭学習について

今年度の質問紙調査の結果から、「朝食を毎日食べる」ことや「家での約束やルールを守る」などの、一定の基本的な生活習慣や家庭内でのルールや約束事を守ろうとする姿勢などは、ご家庭の協力を得て身につけている割合が高いです。しかしながら、課題としては、自分で何かの壁にぶつかったとき、何とか工夫して乗り越えようとしたり、他の人の意見も取り入れながら、考えることの楽しさを感じることに、生活の中で学びを生かそうとする面で、まだ充分ではないことが伺えます。

今後も、「じっくり考えて活動し、わかるよこびや楽しさを感じる体験」や「友達の意見から学ぶ大切さ」の感じられる授業をめざします。家庭学習と学校での授業をつなぎ、単元を通じた学習活動の充実を図っていきます。保護者の皆様には、今後ともご家庭でのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。